

## 私の留学体験記

広島県立呉宮原高等学校 2年 坪島 菜々子 (つぼしま ななこ)

留学期間 平成30年3月8日～平成30年3月21日 (14日間)

留学先 マウントアンナハイスクール (シドニー, オーストラリア)

私はオーストラリアにホームステイをして日本との違いなどたくさんのことを学び、体験しました。

オーストラリアでは私たちの発音と異なるものがありました。例えば「good day」を私たちは「グッデイ」と発音しますが、オーストラリアでは「グダイ」と“a”の発音が異なることがわかりました。また「マクドナルド」を「マック」ではなく「マクン」と、「コカ・コーラ」を「コーク」と発音することがわかりました。はじめ、お店でコーラを注文するときに「コーラ、プリーズ」といっても通じず、ホストファミリーの人に「オーストラリアでは『コカ・コーラ』を『コーク』というんだよ」と教えてもらいました。

また食生活では、私のホストファミリーの家では夕食で野菜のサラダがでたのですが、日本ではドレッシングをかけて食べるのに対し、オーストラリアでは何もかけずに生野菜その物の味で食べたので改めて野菜その物の味のおいしさに気付くことができました。また家の冷蔵庫の中には常にチョコレートや TimTam, ジュースなどが入っており常に何かを食べている状態でした。



学校では、授業が2時間終わるごとに30分のご飯の時間があり、みんなお菓子やサンドイッチなどの昼ご飯を食べていました。またその休憩時間には、UNOやハンドボールをしたりお話をしたりして過ごしました。みんなフレンドリーで話しかけてくれるのはうれしかったのですが、自分の英語力不足で返事に戸惑っていたらゆっくり待っていていたり、私の下手な英語を理解しようと親身になって聞いてくれたりしました。また英語だけではなくジェスチャーや絵などで表現したりなどをしてコミュニケーションを取りました。

私は2週間という短い間でしたが日本とのいろいろな違いを経験するに当たり、何事にも積極的に挑戦し、経験することが大事だということ、そしてそうすることで新しい発見をすることができるということを学びました。

私は将来看護の仕事に就きたいと思っています。病院には外国の方もいらっしゃると思うので今回オーストラリアへホームステイをしたことで、広い考え方で物事を見ることや文化の違いを理解して考えたりなどこれからの将来の夢や生活していくうえでとてもいい経験をする事ができたのでよかったです。オーストラリアに行ったことで自分の英語力のなさを改めて実感することができたので、これからももっと英語を勉強しオーストラリアで出会った方に会いに行き、会話がスラスラできるよう頑張りたいと思います。